



すぎのこつうしん

平成29年6月 古川(東町)カトリック保育園

「喜んでお手伝いをする心を育みましょう」

5月は真夏のような気温、小さい子ども達は体温調節が大変で体調を崩し発熱してしまう子もいました。大人も油断をすると風邪をひいたり、体調不良になったり…。気をつけましょう。これから益々暑くなってきます。熱中症や皮膚病、食中毒等にかかりやすい時期になります。健康には充分注意して生活したいですね。

6月の目標は、「喜んでお手伝いをする心を育みましょう」です。子ども達は小さい頃から大人がする事を真似て色々な事を学んでいきます。ヨキヨキ歩ける頃になると「これポイして来て!」とゴミをクス入れに入れるよう頼むと嬉しそうに捨ててきてくれ、頼んだ人の顔を見ます。その時に「ありがとう、上手だね」と褒めてもらえるとうれしく笑顔になります。

よく、まだお話できない小さい子におしりちゃんおぼあちゃんは「ちょうだい」「どうぞ」「どうもありがとう」と物を渡したり受け取ったりして遊びます。子ども達は笑顔で遊んでいます。これがとても大切なことです。小さなことから教えこもうということではなく、何気ないことから遊び感覚で始めることが大切かなと思います。

人と関わることの楽しさや大切さを知るよい機会になります。社会性を育む力になることだと思います。何でも積み重ねが大事で、私たち大人が意識しながら人として生活していく為に必要な事柄を自然な形で知らせていくことが私たち大人にとっての子ども達へのお手伝いなのではないでしょうか。その為には私たちも色々なことを学んでいく必要があると感じます。いくつになっても勉強です。

マザー・テレサのことば

- ・思考に気をつけなさい、それはいつか言葉になる。
- ・言葉に気をつけなさい、それはいつか習慣になる。
- ・習慣に気をつけなさい、それはいつか性格になる。
- ・性格に気をつけなさい、それはいつか運命になる。



<園長 平野 義子>

行事予定

- 1日(木) 静修の日(3歳以上児)
- 2日(金) 草すべり(3歳以上児)
- 9日(金) 防災訓練
- 12日(月) サッカー教室(4.5歳児)
- 16日(金) 保育参観(3歳以上児)
- 22日(木) 大崎ホーム訪問(4.5歳児)
- 23日(金) 誕生会



6がつうまれのおともだち

たんじょうび おめでとう☆



☆今月のうた☆

聖歌♪ 神さまといつもいっしょ♪

- 1・神さまといつもいっしょ わたしたちみんな 朝がきて 夜があける 太陽のプレゼント ※
- 2・神さまといつもいっしょ わたしたちみんな 小鳥たち 小枝から おはようのごあいさつ ※

※ あいけどう 神さま あいけどう たくさんのお恵みを
あいけどう 神さま あいけどう わたしたちのため



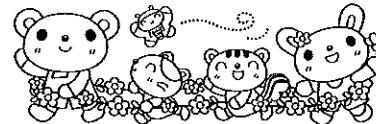
うた♪ あめふりくまのこ♪

- 1・お山に雨がふりました あとからあとからふってきて 千ヨロ千ヨロ小川ができました
- 2・いたずらくまのこかけてきて そうーっとのぞいて見ました 魚がいるかで見ました
- 3・何にもいないとくまのこは お水を一口飲みました お手々ですくって飲みました
- 4・それでもどこかにいるようで もいちどのぞいて見ました 魚をまちまち見ました
- 5・なかなかやまない雨でした 傘でもかぶってしましよう と 頭に葉っぱをのせました



～おとうさん おかあさんから～

8か月での入園からもう保育園ラストの年になってしまいました。入園直前に食物アレルギーがあることがわかり、入園も仕事復帰も延期しようかと悩んでいましたが、先生方は私達親子に寄り添ってくださり、状況に応じて細やかな配慮をいただきながら、心配も不安も感じることなく保育園生活を満喫することができました。先生方の大きな愛情とお友達との優しさに包まれ、たくさん食べてたくさん遊んで体も心も大きく成長することができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。今年1年もお友達と先生方とたくさん笑って過ごしてもらいたいと思います。



< ○○○○○○○ちゃんのお母さん >



☆クラスだよ☆

○ぼんび組(0歳児)

- <ねらい> ・簡単な手伝いに興味を持ち、しようとする。
 ・室内外の温度や湿度により、衣服を調節してもらい、心地良く過ごす。
- <家庭連携> ・片付けなど簡単な手伝いを頼み、できた時には沢山褒めることで興味を持たせたり、しようとする気持ちを持てるようにしましょう。
 ・室内外の気温に合わせて衣服の調節をし、快適に過ごせるようにしましょう。また、水分補給をするようにしましょう。

○ひよこ組(1歳児)

- <ねらい> ・簡単な手伝いの楽しさを知る。
 ・梅雨の時期を健康で元気に過ごす。
- <家庭連携> ・簡単な手伝いを頼んだり一緒にやり、出来た時は褒めようこびあいましょう。
 ・気温や湿度に応じて衣服の調節を行うので多めに持って来て下さい。スポンを一人ではこうとするお子さんが増えてきました。思いやり、ほいたりしやすいものをお願いします。



○ことい組(2歳児)

- <ねらい> ・手伝いや当番の楽しさを知り、喜んで行う。
 ・食事を楽しみながら意欲を持って食べる。
- <家庭連携> ・子どもに出来る簡単な手伝いを留意し、手伝ってくれたことに感謝を伝え、手伝いの楽しさや喜びを味わえるようにしましょう。
 ・楽しく食事する姿を見せたり、一緒に食事をする中で、フォークやスプーンの持ち方を知らせましょう。



○こねこ組(3歳児)

- <ねらい> ・周りの人に目を向け、手伝おうとする。
 ・おしほりの絞り方を知る。
- <家庭連携> ・家庭でも手伝いを留意し、手伝う事の楽しさや感謝される喜びを感じられるようにしましょう。
 ・おしほりを絞る練習をします。絞りやすいよう小さめのもの、又は落手のおしほりを用意してください。



○うさぎ組(4歳児)

- <ねらい> ・進んで手伝い助け合おうとする。
 ・善いこと、悪いことを意識しながら友達と関わる。
- <家庭連携> ・家庭で色々な手伝いを経験させる場を作り、感謝を伝え、誰かの役に立つことの喜びを味わえるようにしましょう。
 ・楽しいこと、してほしいこと、相手が喜ぶこと、悲しむことを生活の中で知らせいきましょう。

○ひつじ組(5歳児)

- <ねらい> ・小さい子、困ってる人に気付き優しく接したり、手助けをする。
 ・梅雨時期の自然や動植物の生長に興味や関心を持つ。
- <家庭連携> ・優しい言葉遣いや接し方を知らせてあげましょう。
 ・梅雨時期ならではの生き物や事象について知らせていきましょう。



○給食室

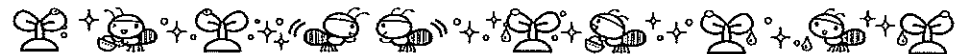
・3歳以上のクラスのなると給食時間のお手伝いが始まります。子ども達は指折り数えるほどお当番を心待ちにしています。子ども達にとってお手伝いをするのが特別で楽しいことのように思っています。忙しいと思った時、箸を持って行ってもらう、テーブルを拭くなどお手伝いのできる環境を整えてあげてください。



「喜んでお手伝いをする心を育みましょう」

「〇〇ちゃんこれ持っていくの手伝って！！」ことい組のお友だちはお手伝いかた〜いすき。手伝ってくれた後「ありがとう」と感謝の言葉を伝えるとニコニコ笑顔を見せてくれます。まだ、産まれてから2〜3年しか経ってないのに、きちんと理解し喜んでお手伝いをしてくれます。しかし、成長と共にお手伝いを嫌がったり物やお金ももらえないとしないという子も増えてきます。お手伝いは相手を思いやる気持ちから行うものだと思います。相手の事を思い、相手が嬉しい気持ちになるからこそお手伝いを喜んでする。小さい頃から周囲を思いやる気持ちが育つよう、お手伝いをしてくれた後はきちんと目を見て感謝の気持ちを伝えたいと思います。

<ことい組担任 宮澤 果代子>



お知らせ

- 育休中だった、園部紗希保育士が6月1日より復帰します。(ひよこ組を担当します) 宜しくお願ひします。
- 6月12日(月)~23日(金) 5月に保育実習Iを行った近江志保さんが保育実習IIの為来園します。宜しくお願ひ致します。





あなたの一分間拝借！

2017年6月吉日

「私にも手伝わせて」「僕にもやらせて」子ども達は、親の手伝いをしたがるものです。食事の準備、お片付け、新聞を取りに行く、お掃除等々子どもなりに出来ることは何でも任せる寛大な心で応えてほしいものです。忙しい時などは、「あっちに行って遊んでなさい」とお手伝いをしたい心の芽を潰してしまうことがこの家庭でも見受けられるのではないのでしょうか。また、あなたが手伝うとかえって足手纏いになるからといって無下に断りたいする方々も多いと思います。心すべきことと受け止めて頂きたいものです。

お手伝いの心は、個人だけで行うものではありません。家庭だけではなく、地域社会全体で培われていく深層があると思います。ある肉屋さんで母親が、夕食のお買い物をした時、包装を終えた店主が幼い娘さんにわざわざお買い物物を渡しました。そして、お手伝いのご褒美にハム一枚を娘さんにおげたのでした。それは当然の行為でした。親だけでなく地域社会が子ども達に生活の中でお手伝いすることの尊さと意味合いを教えている素晴らしい光景ではないのでしょうか。お手伝いの喜びを分かち合うひと時、いつまでも両者の心に残る、忘れることがない愛のひと時だったと信じます。当たり前前の事が当たり前前に行われた瞬間でした。ここにこそ、喜んでお手伝いで助け合う人間だけに出来る仕合せへの神祕が存在すると確信する御人です。

お手伝い、それは人としてあるべき姿ですから、それだけ心しなければならぬ幾つかのことがありますので、みんなで反省、猛省いたしましょう。幼い子ども達の心には、神様から(奉仕)というタレントが皆に与えられております。この(奉仕)という芽が生活環境如何で育成され、社会に役立つか、それとも潰されたり、歪められたいするものですから、自重自戒しなければなりませんね。

6月の人間性教育目標<心の保育>の目標は、「お手伝いを愛する心の育成に力を尽くしましょう！」です。お手伝い、それは(仕える)事の始めではないかと思ひます。人々にとっては、嫌いなこ

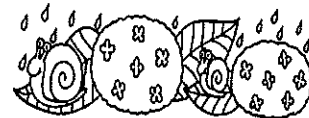
とかもありません。特に小さい子ども達にとっては、至難な仕業(しわざ)でしょう。それでも幼児期から自分の好きな事だけに夢中になるのではなく、人と人の間、親と子、友と友の中に立って互いに神様が喜ぶことを分かち合うようお手伝いする気持ちを、育む努力の積み重ねかなければ、人は人間的存在「じんかんできそんざい」として育っていかないでしょう。「仕える」ことより「仕えられる」ことを選ぶ人間になってしまいます。イエスは弟子達に言われました。

「あなたかたがみんなの前で一番になりたいなら人々の僕(しもべ)召使になって仕えるようにしなさい。「仕える」ことがあなたを高め、あなたを深め、あなたを「仕合せ」にするのですから」と…「Aちゃん、手伝って！」「今、これをしてからあとでね。」「Bちゃん、これ片付けて！」「いや、それは私が使ったものじゃない…」と仕える姿勢から遠い言葉が返ってきます。6月は共に仕え合うことの喜びを分かち合う日々になりますように祈念いたします。

イエスの母マリア様は、救い主の母となりますか？と問われた時、「私はあなたの「はしため」です、「召使です」あなたの(仰せ)のとおりになりますように」と謙虚に承諾されたことが聖書に啓示されています。

未来永劫まで[母]としての尊厳、相応しさという人としてのあるべき姿を証(あかし)された最高の女(ひと)ではないかといつも思ひます。私たちが「仕える」ことが決して卑しいこと、自己卑下することではなく、最高の人間になるために必要な行為であることに目覚め、特にいと小さき人々、至らない人々の味方になれるよう人間的存在「じんかんできそんざい」の意味合い、その深層を考えていただきたいと思ひます。

謙虚に仕え合う世界の人の「幸せ」は<仕合せ>を招く！



カトリック司祭 川井 啓